

化粧品業界として初めて、東京大学^{しよくもんしょう}稷門賞を受賞 ～ 教育、研究活動の一層の充実に産学連携で貢献～

株式会社コーセーは、国立大学法人東京大学より、同大学の発展に大きく貢献した個人、法人に与えられる「東京大学稷門(しよくもん)賞」を受賞しました。10月24日同大本郷キャンパス内の山上会館にて行われた授賞式では、4団体の受賞者に対して東京大学 小宮山総長から銅製のレリーフと記念品が贈呈されました。

本受賞は東京大学大学院薬学系研究科からの推薦によるもので、当社が薬学系研究科の総合研究棟(第二次工事)の建設にあたり、建設費を支援し、同研究科の教育・研究の一層の充実に貢献したことが評価されました。

コーセーは東京大学大学院薬学系研究科の活動を支援することにより、化粧品領域の研究活動に留まらず、日本のライフサイエンスの発展に貢献していきたいと考えております。今後もコーセーは産学連携による教育・研究の充実に積極的に取り組んでまいります。



左 授賞式風景
中央左 東京大学 小宮山総長、
中央右 当社会長 小林禮次郎
上 レリーフ(右)と記念品

東京大学稷門(しよくもん)賞

東京大学は、平成 14 年度から本学に私財の寄付、ボランティア活動及び援助、寄附講座、寄附研究部門等により、本学の活動の発展に大きく貢献した個人、法人又は団体に対し、感謝の意を表すため「東京大学功績者顕彰制度」を設け、その功績に対し「東京大学稷門賞」を贈呈することといたしました。

なお「稷門」とは、中国の戦国時代の斉(現在の山東省)の首都の城門の名前です。斉の威王、宣王が学者を厚遇したため、斉の都に天下の賢者が集まり、学問が栄えたという故事をこの賞の名称は踏まえています。稷門付近は「稷下」と呼ばれ、多くの学者が集まったことから、「稷下の土」という言葉も生まれました。(出典『史記』)

東京大学 HP(<http://www.u-tokyo.ac.jp>)より転載